



311子ども甲状腺がん 損害賠償請求訴訟

第11回口頭弁論期日

第31準備書面～臨床・病理から見た甲状腺がん

2024年9月11日

原告ら訴訟代理人弁護士 田辺保雄

甲状腺の模型

正面

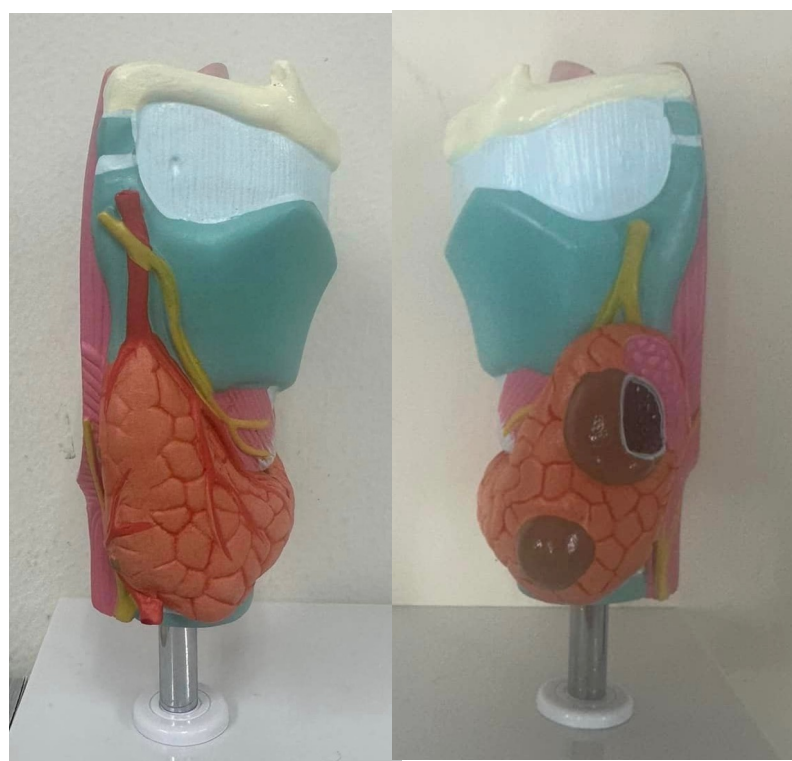
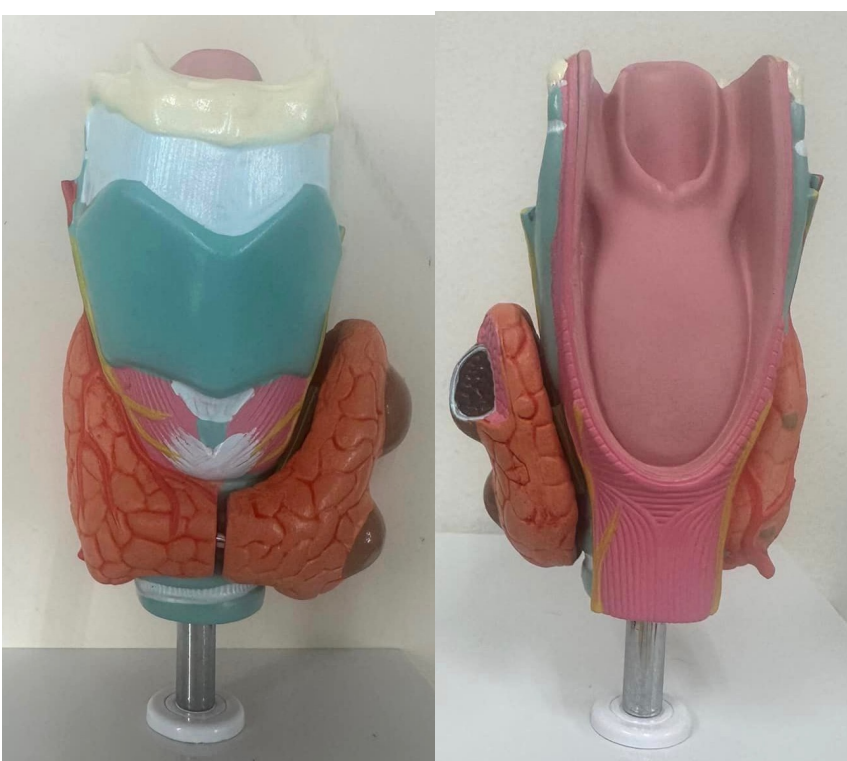
背面

左面

右面

上面

下面





福島県が把握している小児甲状腺がん

甲全349に基づき作成

	対象者数	受診者数	穿刺細胞診で 悪性疑いの患者	悪性疑い/受診者	手術後の がん確定患者	がん患者/受診者
1巡目（2011-13年）	367,637	300,472	116 *1人は術後に良性	0.039%	101	0.034%
2巡目（2014-15年）	381,237	270,552	71	0.026%	56	0.021%
3巡目（2016-17年）	336,667	217,992	31	0.014%	29	0.013%
4巡目（2018-19年）	294,228	183,410	39	0.021%	34	0.019%
5巡目（2020-22年）	252,938	113,959	46	0.040%	42	0.037%
6巡目（2023-24年）	211,897	42,416	6	0.014%	0	0.000%
25歳節目	149,843	42,416	23	0.054%	18	0.042%
30歳節目	44,489	2,221	6	0.270%	4	0.180%
検査で把握された患者			338		284	
がん登録で把握された患者			43		43	
			合計380人		327人	

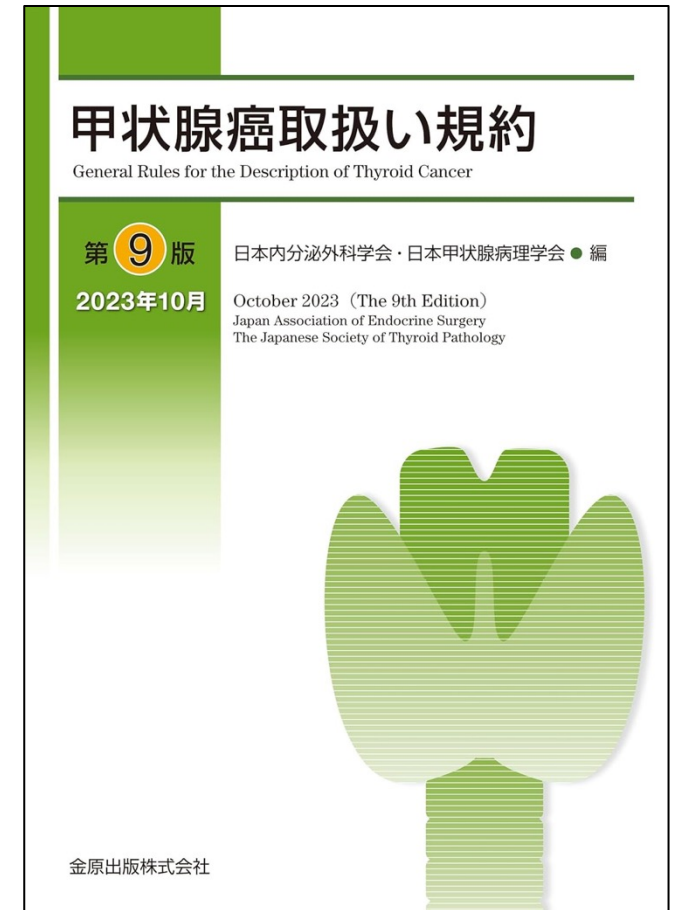
EBMに基づいた甲状腺治療のガイドライン



甲全319

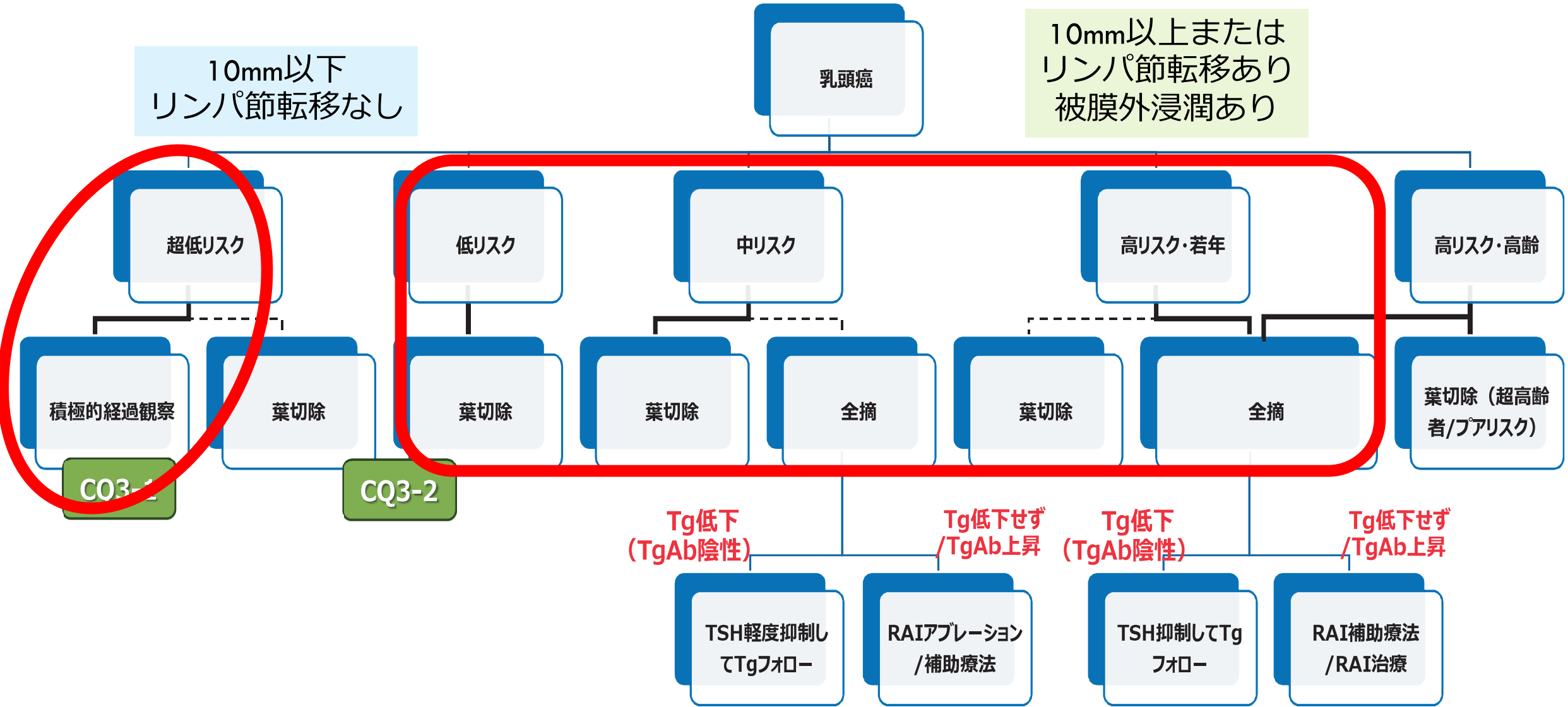


甲全320



甲全321

乳頭癌のリスク分類に基づく初期治療と術後モニタリング



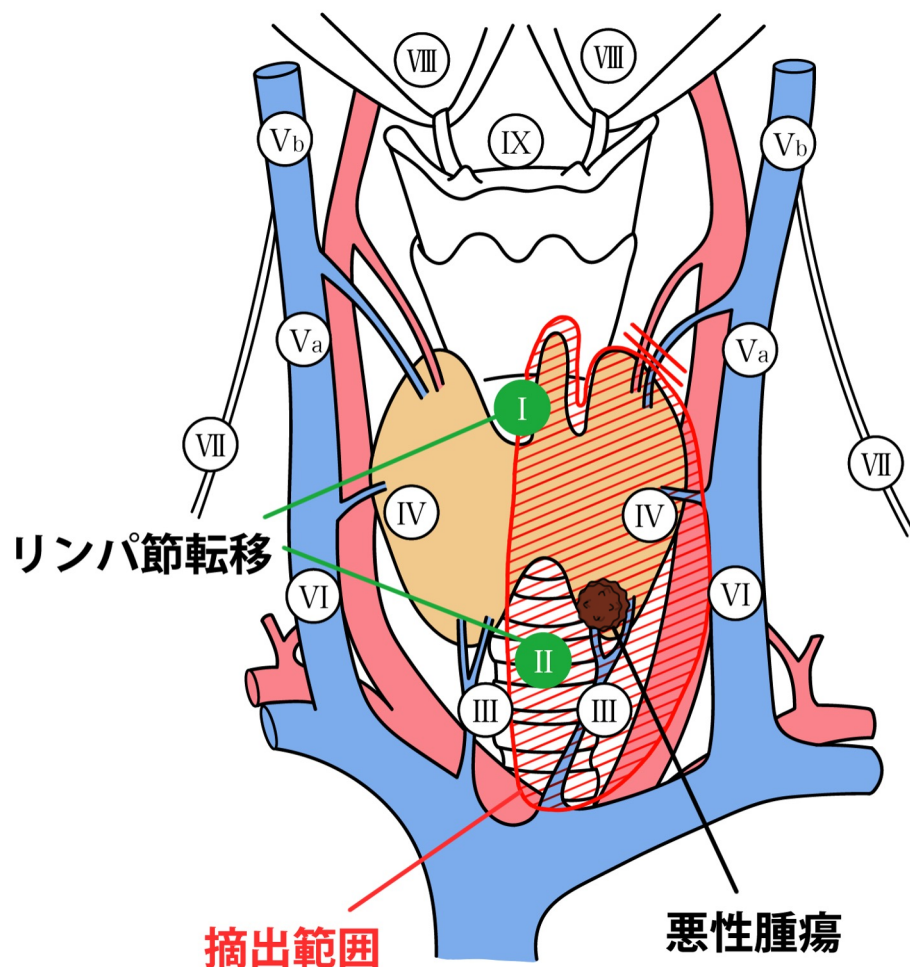


鈴木真一氏の学会発表（2021年12月まで）

甲全372

因子	非再発	再発
症例数	196例（90.3%）	21例（9.7%）
男女	男性74例：女性122例	男性10例：女性11例
平均手術時年齢	18.0±2.7	15.0±3.8
平均震災時年齢	12.7±3.1	11.7±5.0
平均腫瘍径	14.4±7.9mm	17.2±9.1mm
pT3（腫瘍径4cm以上または浸潤）	84例（43%）	14例（67%）
pN+（リンパ節転移あり）	152例（77.6%）	18例（86%）
pN1a（中央区域または上縦隔リンパ節への転移）	131例（66.9%）	10例（50%）
pN1b（外側区域または咽頭後リンパ節への転移）	21例（11.0%）	7例（33.3%）
pEX（皮膜外浸潤）	85例（43.4%）	14例（66.7%）
全摘：半摘	14例（7%）：182例（93%）	2例（9.5%）：19例（90.5%）

原告 1 の甲状腺がんと切除範囲

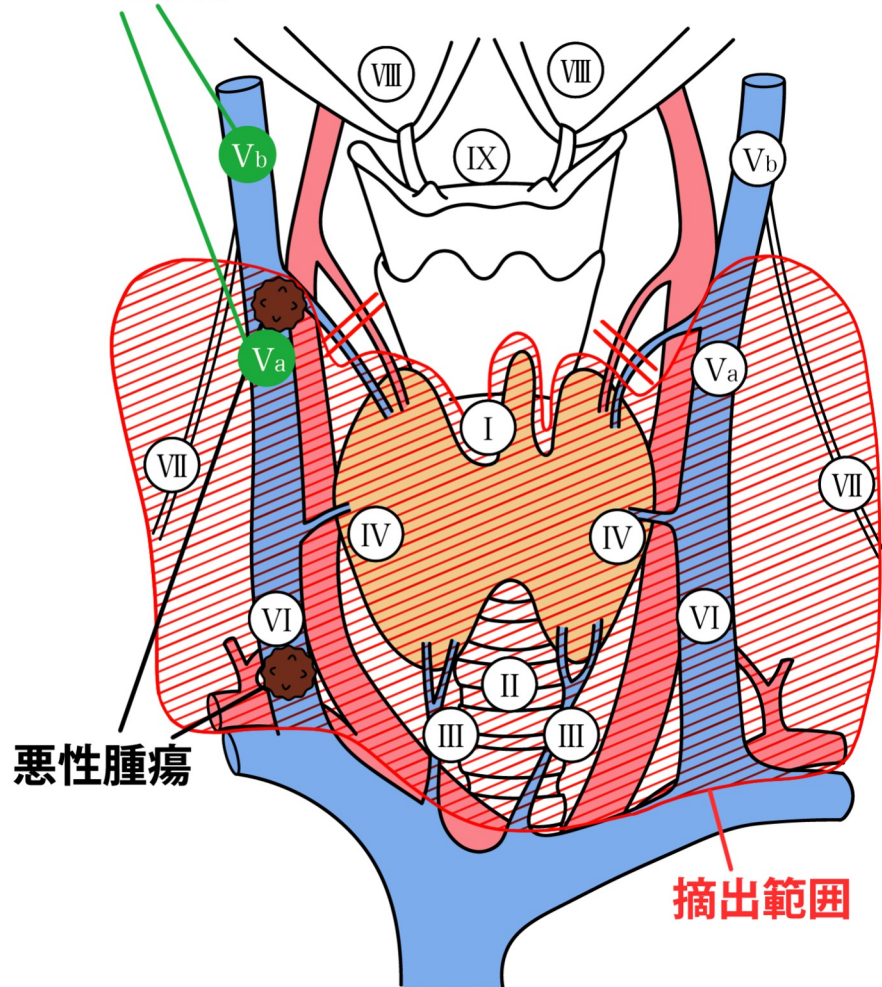


- ◆ 県民健康調査 1 巡目でがんが発覚。
- ◆ 1 年半の経過観察期間中に腫瘍径が増大。
- ◆ 10mm + 被膜外への浸潤が疑われ手術適応へ。
- ◆ 組織型は充実型乳頭がん
(Papillary carcinoma)
- ◆ 甲状腺乳頭癌の腺内転移多発
(Intrathyroidal metastasis of papillary carcinoma, multiple)
- ◆ TNM分類はpT1apEX0pN1a(3/6)M0
- ◆ Iのリンパ節 1 箇所、IIに 2 箇所
- ◆ 左III 1 箇所の計 4 箇所にリンパ節転移。

原告2の甲状腺がんと切除範囲

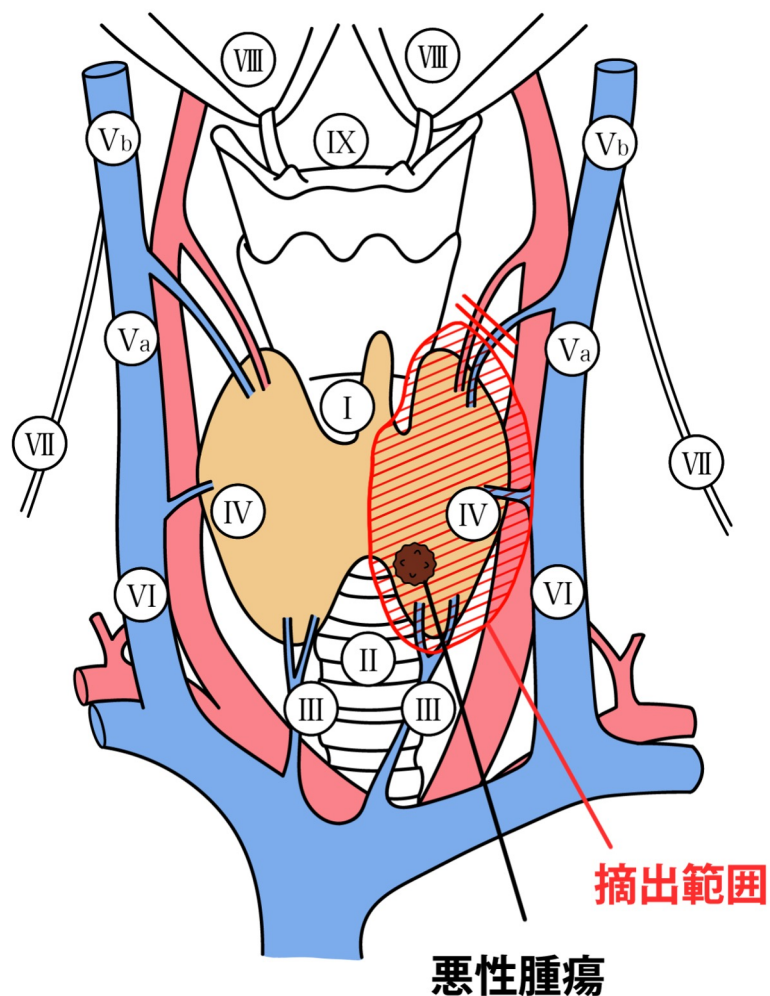


リンパ節転移



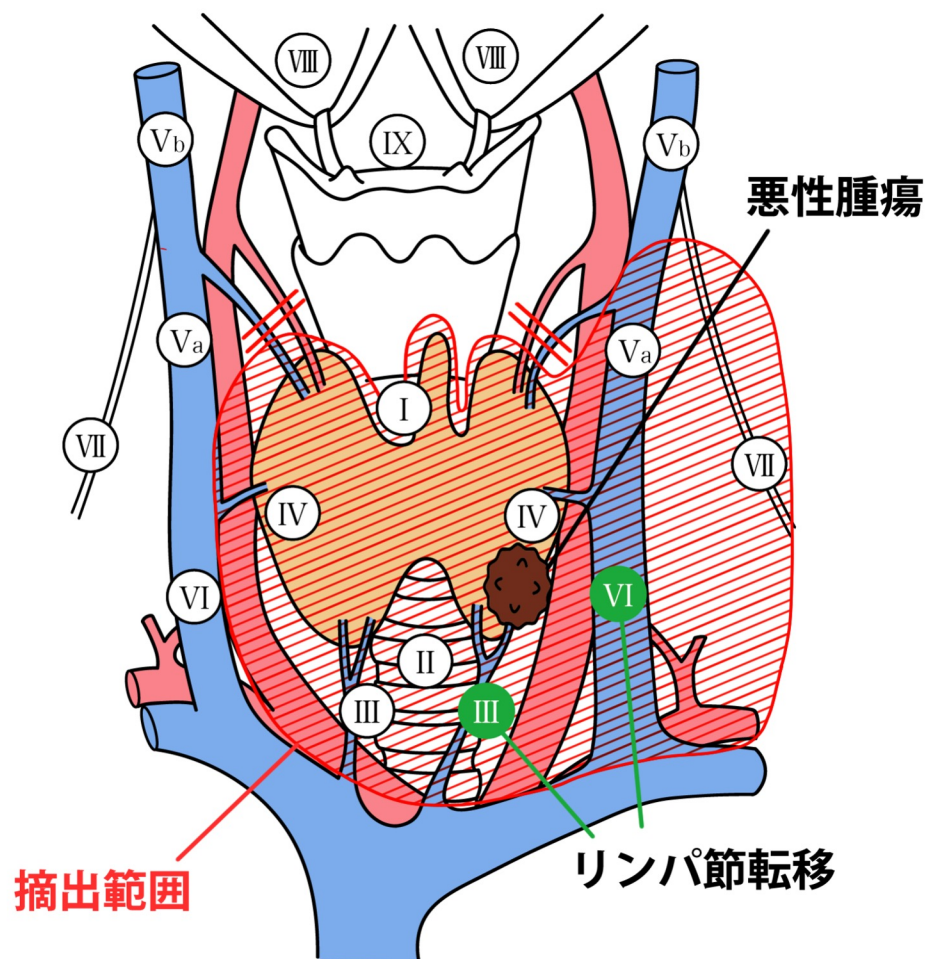
- ◆ 県民健康調査 1 巡目でがんが発覚。
- ◆ 1 回目手術で葉切除とリンパ節郭清を実施。
- ◆ 組織型は、特殊型のびまん性硬化型乳頭がん。
(diffuse sclerosing variant)
- ◆ IとIIのリンパ節に各 1 個、右IIIに 5 個、右Vに 3 個、
VI 1 個と計 11 箇所のがんの転移。
- ◆ 1年後に再発と遠隔転移が発覚。
- ◆ 甲状腺の被膜を越えて胸骨甲状筋、周囲脂肪以外の臓器へ浸潤していた。
- ◆ これまでに計 4 回のアイソトープを試行。
- ◆ 8月に 4 回目のRAIを受け療養中。

原告3の甲状腺がんと切除範囲



- ◆ 県民健康調査 1 巡目検査はA 2 判定。
- ◆ 結節は全くなかった。
- ◆ 県民健康調査 2 巡目で 7 mmのがんを発覚。
- ◆ 2 年間で 5 mm以上の増大。
- ◆ 気管に近接した位置にあるとして手術適応に。
- ◆ Ex1で甲状腺外への浸潤あり。
- ◆ 放置すると気管への浸潤の可能性も。

原告5の甲状腺がんと切除範囲

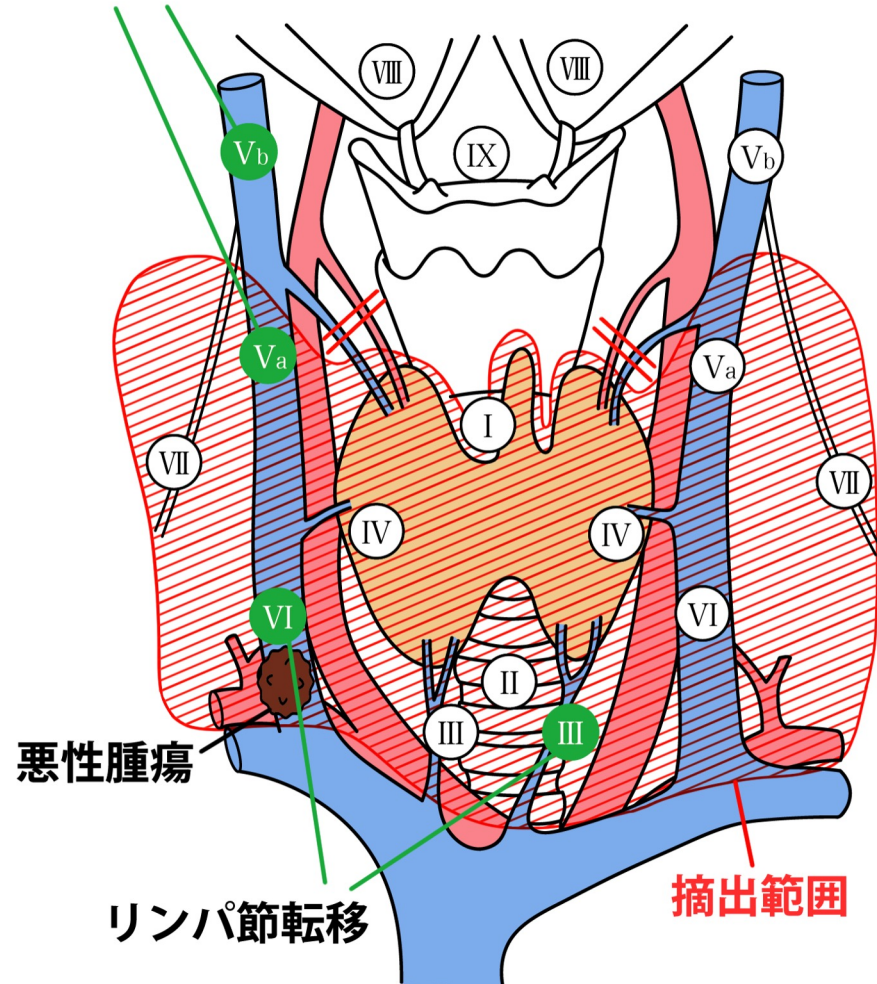


- ◆ 県民健康調査 1 巡目でがんが発覚。
- ◆ 1 回目で切除した悪性腫瘍は 6 mm。
- ◆ 微小だが計 9 箇所リンパ節転移あり。
- ◆ 1 年後にしこりが見つかり、3 年後に悪性疑い。
- ◆ 2 回目で切除した腫瘍も 8 mm。
- ◆ 中央区域と外側区域に計 7 箇所リンパ節転移
- ◆ 最近になり、新たな局所再発が見つかった。

原告6の甲状腺がんと切除範囲



リンパ節転移



- ◆ 県民健康調査 1 巡目はA 1、2 巡目はA 2 判定。
- ◆ しかし 3 巡目で17mm超のがんが発覚。
- ◆ 病理結果は、被膜外浸潤、10 箇所にもリンパ節転移。
- ◆ 術後2年目にリンパ節に5 mmを超える腫瘍。
- ◆ 1 年間の経過観察を経て残存甲状腺の全摘術を施
- ◆ 2 回目の手術でも左右9 箇所にもリンパ節転移。
- ◆ その後、未成年でRAI治療を試行。